



まごころドーナッツより

Vol.29

2024年12月発行

・ 社会科見学 ～知床らうす物産展～



リサイクルショップ
マルシェせたがや
店主の石田さん

11月中旬のこと。私たちは世田谷区千歳船橋へ降り立った。駅の改札を出て右の広場に何やら大きなテントが立ち並び活気のある音楽と人々の笑い声が聞こえる。

さかのぼること半年前、私は行動範囲を広げるべく町を練り歩き不思議なりサイクルショップを見つけた。店内に入ると洋服や電化製品奥にはスタジオがあり店主の人は何やらパソコンをいじっている。大きな画面のデスクトップパソコンの前にノートパソコンが5台ほど並んでおり、それぞれ値札が貼ってある。ふと目をやると30000円と書かれていた。(ノーパソが三万!? ？んなわけあるか?) と思わず店主の方に「三万でパソコン買えるんですか!」と言うと『中古ですけどまあw今データを移してるんですよ』と一言。先日大型家電量販店で十万円越えのパソコンを見て愕然とした私にとって三万円でパソコンが買えるなんてまるで夢のように感じた。というのも私の持っているパソコンが壊れてしまいどうすれば良いものかと絶賛考えあぐねていたところだったのだ。すぐさま店主の人に「パソコン壊れちゃって、パソコン買い替えたいんですけどお願いできますか?」という『まずはパソコンを持ってきてください。』と言われ後日パソコンを持って行くと『いいパソコンですね!これは買い替えじゃなくて修理にしましょう!』と言われそのまま修理へ出すことになった。最初は正直なところこの店大丈夫かと不安だったが、店主の方と話して行くうちに次第に打ち解け、気づけば1日に数時間店主の人と会話をして、パソコン修理の進捗を聞くという日々をしばらく過ごしていた。そんなある日私は店主の人の人柄に惹かれぜひまごころドーナッツで働く大人として講演をしてほしいと思いお願いをしてみようと店を訪ねたところ店主の方は興味はあるものの忙しいので難しいとのことだった。が、まごころドーナッツがこちらに遊びに来る形はどうか?とのことだったのでとりあえずまごころドーナッツの田中さんに話をしてみたところあれよあれよという間に知床の物産展に遊びに行くというお出かけプログラムが出来上がった。



私は私の暮らしている町を少し紹介できるということをととても嬉しく思うとともに楽しいプログラムになるかと少し不安も感じていた。そして当日私は緊張からか早起きをしてしまい、気を紛らわせようとカラオケへ行きプログラムまで時間を潰した。そしていよいよ予定の時刻になりいざ物産展に足を踏み入れると私の緊張とは裏腹に?店主の方は笑顔で迎え入れてくれた。みんなで様々なテントを回り最後に店主さんの紹介で森繁久彌さんの息子さんとお話することになった。話の具体的な内容は割愛させていただくが、森繁さんとの話は私にとって自分のことを見つめ直すきっかけになるような、なんとも言えない穏やかな時間だったように感じる。

今回のプログラムは自分がみんなに会わせたいと思う人を見つけてそれを実現できたことももちろんだが私にとってこの世田谷の町の人たちをより好きになることができたいい日だったように思う。(メンバー あゆ)

・ カタルーベの会「音楽会」

11/15(金)にカタルーベの会主催の「こころつなぐ音楽会」(於なかのZERO)では、まごころドーナッツは5組、それぞれのユニット名で出演しました。まごころドーナッツのメンバーたちはこの演奏会でのリハーサルから演奏の中で、満足感とやり遂げた充足感できっとこころがいっぱいになったのではないかと思います。おっと、もちろん、緊張感も…!

今回の機会メンバーのみなさんがさらにまたひとつ、大きなチカラを獲得できたのではないかと強く思いました。

そして本当に素晴らしい時間となり、メンバーのみなさんはとてもよい顔をしていました。

(スタッフ 山下 征桐)



朗読会

このプログラム実現のキーマン「ことば♡カフェ」の山崎詔子さんが、実現の経緯とこの日の様子を記事にしてくださいました。以下にご紹介いたします。

きっかけは「不登校カフェ」——安全安心な場で、テーマについて自由に語り合う場です。

その月のテーマは「絵本から学ぶ『言葉かけ』」で、まごころドーナッツのメンバーMさんもご参加くださいました。

そして、Mさんからの「まごころドーナッツでもやってみたい」の声に、朗読会がMさんの進行で実現！穏やかに進めていく姿が眩しくて嬉しかったです♡

読んだ絵本は「ママがおこるとかなしいの」というゴードンメソッド（親業）のインストラクターが作ったもの。子育てだけでなく、あらゆる人間関係で大切にしたい内容です。

声を出して、みんなで読んで、感想を分かち合う…沢山の気づきをいただきました。

(おやぎょう「虹のかけ橋」山崎詔子)



絵本の内容が知りたい方は、まごころドーナッツに読みに来てね！

リースづくり

まごころドーナッツのシンボリックなリースを作ってから2年が経ち、青々とした緑もアンティークなセピアカラーになり、リニューアルをする運びになりました。

まごころドーナッツの空間づくりに力を貸して下さっているフラワースタイルストの仙石達也氏を今回も講師にお招きして、リースづくりを行いました。参加したメンバーの原稿を紹介いたします。

リース作りを初めてやってみました。自称センス0の私は、ものづくり自体を避けてきましたが、結果として楽しい体験ができました。体験したことは3つ。

①実際の植物を取り扱うところです。実際の植物に触れたり、香りや形を感じる事で、荒んだ心が和む、そんな気持ちを私に与えてくれました。②自分のペースでやり直しができる事。(こだわることも、妥協することも、自分自身で決めることができる。)誰かに指示されることがないので、自分の気持ちに向き合うことが出来ました。③どんな個性でも尊重されること。皆の完成品を飾った後は、他の人のリースの個性を褒め合い、温かい人間関係で心が癒やされました。終わった後も心が落ち着いていたので、心が荒んだときには、植物に触れる機会を作ろうかなと思えました。

(メンバー おしゃべり上手の永井さん)



若者家族セミナー

11/30 (土)、「うちの子、この先どうなるの?」というテーマで区内在住・在学・在勤の若者の家族を対象にしたセミナーを開催しました。

前半はまごころドーナッツ統括責任者による講演とメンバーの若者による発表、後半は懇談の時間でした。メンバーの発表は、最後にご家族の皆さん

に向けての言葉もあり、「当事者の声が聴けてよかった」とのご感想をいただきました。懇談では家族同士で語り合うことで共感や支え合いの空間が生まれ、こちらも良い内容となりました。終了後には、多くの方が会場からまごころドーナッツに移動して、フリースペース見学や引き続き交流をされていました。次回は3/22 (土)に家族向けイベントを開催する予定です。(スタッフ 田中 亮太)



中野区若者フリースペース まごころドーナッツ

【所在地】

〒164-0011 東京都中野区中央1-41-2

中野区子ども・若者支援センター(愛称:みらいステップなかの)4階

東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線「中野坂上」駅A1出口から徒歩2分

【電話】

03-5937-3664

【開所時間】

火曜日から土曜日(祝日、年末年始を除く)11:30~19:00

※毎月2回、不定期で閉所日があります。

プログラムスケジュールや最新情報は、HPにてお知らせしていきます。→

